



元旦の朝10時 刈田神社にて

## 求めずして

苦しい時の神頼み。というけれどお互い人間、困って悩んでセツパつまれば、やはり思わず手を合わせ、神仏に祈りたいような気持ちになってくる。どうかお頼み申します、どうかねがいをき届けてください——、いろいろさまざまなねがいやら求めに、神仏も大へんであろうと思う。

人情としてやむを得ないというものの、それにしてもお互いにもあまりにも求めすぎはしないか。頼みすぎはしないか。

手を合わすという姿は、本当は神仏の前に己れを正して、みずからのあやまちをよりなくすることを心に期すためである。頼むのではない。求めるのではない。求めずして、みずからを正す姿が、手を合わす真の敬虔（けいけん）な姿だと言えはしまいか。

これは別に神仏にかぎったことではない。日々の暮らしの上でもあまりにも他を頼み、他に求めすぎではないか。求めずして己れを正す態度というものを、今すこし養ってみたい。個人としても、団体としても——。

49

1月2月合併号

1974

NO. 171

## 生活環境をより豊かに



登別市長 高田 忠雄

開基以来、百有余年の風雪によく堪え、ひたすら市民憲章に掲げるまちづくりの道を歩んでいる我が登別市は、今や五万の人口を擁し、目覚ましい発展のうちに、新しい年を迎えることができました。年の始めには皆さんそれぞれの目標に向かって決意をあらたにされることと思いますが、私もまた市政担当才二期目の締めくくりの年に当り、思いをあらたにして発展をつづける登別市のために全力を傾けたいと考えております。

かえりみますれば、昨年は、我が国がかつて経験をしたことのない厳しい経済情勢の中で、「美しい自然と平和な営みが、調和する都市建設」を目ざして進む登別市は、教育・文化・福祉の向上等、市政全般に著実な伸展を示しえましたことは、これひとえに市民の皆さんの、市政に対するご理解とご支援の賜ものでありまして、心から深くお礼を申し上げます。

希望あふれる昭和四十九年の新春を、皆様と共に迎えますことは私のもっとも喜びとするところであり、心より新年のお祝いを申しあげ、次第であります。

昨年をかえりみますと、国内外における政治情勢、経済情勢はめまぐるしく激動した年でございました。中東紛争に端を発する石油の供給削減等は、私達国民生活に多大な影響を与え、灯油、ガスに加え電気の使用規制等は、物価の高騰に拍車をかける結果となり、市民の皆様におかれましては、不安にあげ暮れた年であったことと推察いたしますのであります。

しかしながら、当市の市政は、このような時勢を克服しながら進展してまいりましたが、これは、市理事者を中心として、市の発展を願う皆様方が、協力されたお陰でございます。心より感謝いた

私は、これまでの躍進の上になつて、激動する社会情勢の流れに逐次目を向けながら、本年も私の市政方針である「美しい自然と平和な営みが調和する登別市建設」のために、市道舗装の増進、上覧別東部地区土地画整理事業の促進、し尿・じん介処理施設の強化、市内幹線排水施設の整備、都市公園建設計画の樹立、教育・文化施設の整備拡充等の投資的事業と老人・子どもなど社会的に弱い立場にある人々の福祉向上、交通安全の推進、公害防止の徹底等の福祉行政とを効果的に調和して皆さんの生活環境をより豊かなものにしたと存じます。

どうか本年も市政に対し、倍旧のご協力を賜りますようお願い致しますとともに、皆さま方のご多幸を心からお祈り申し上げまして、新年のごあいさつといたします。

次第であります。

特に昨年は、乳幼児医療費の無料化、室蘭、登別急病センター設置等福祉行政の強化が着々と進められまして、福祉元年にふさわしいスタートが切られ、将来の福祉行政に明るみを見出しております。

あけて本年も、昨年同様、経済情勢の安定は、まだまだ望み難い情勢下にあります。市政におきましては更に福祉都市としての環境整備、市民生活の向上を図る種々の施策を積極的に推進するとともに、終始公正に諸案件を慎重に審議し、皆様のご期待にそえるよう努力する決意であります。

皆様におかれましては、今後ともより一層のご協力を特にお願ひ申しあげまして、新年のごあいさつといたします。

## 福祉行政の強化を



登別市議会議長 室 久吉

## 761人が新成人に

ことしの市内の新成人は、男三百八十一人、女三百八十八人の合計七百六十一人で、このうち式典に出席したのは約半数で男百四十六人、女二百四十一人の三百八十七人でした。

女性のほとんどが、和服姿で会場は華やいだ雰囲気です。

式は午前十時半から中央公民館で開かれ、内藤教育委員長の「大人としての自覚と責任をもって行動してほしい」との式辞が述べられ、引き続き高田市長、室市議会議長の祝辞があった。このあと新成人を代表して福本三枝子さん



市民憲章を朗読する新成人



新成人を記念して七宝焼を楽しむ娘さん



和服姿の娘さんたちでにぎわった記念写真撮影

が「これからは自覚ある成人として行動し、社会に寄与します。」と答辞。代表六人による市民憲章の朗読を行なって式典は終わりました。

式典のあと、登青連が晴姿の記念写真（カラー）を希望者に百円で撮って、中央公民館前は着飾った娘さんたちでにぎわっていました。また、青年学園生が、成人を記念して、七宝焼によるタイピン、ブローチの自作を指導しました。



出席したほとんどの女性が着物姿。会場は華やいだ雰囲気にも包まれました



昨年に続いて建設した4階建の市営住宅(3DK、24戸)は工事費6,933万円。東団地のとなりたてられました。また、千代の台団地にも2,395万円で2階建3棟(2DK8戸、3DK4戸)を建設11月30日に完成しています。

登別市は、昭和四十五年八月に人口四万六千人の特例市として、市制を施行。

太陽と緑のまちを基調とする市民憲章を制定し、都市計画の推進、福祉の増進、青少年の健全育成など、市制施行後の都市づくりは急テンポで進められ、これが逐年、人口の増加を招き、今や五万都市として着実に発展を遂げてきました。また、四十八年度は、開基以来の大型予算を組み、市民生活の向上、市政の発展に全力投球してきましたが、ご承知のとおり、物価の異常高騰やモノ不足で、十六件をこえる工費二千万円以上の新規事業が、大幅に予算をオーバーしてしまいました。

さらに、国庫補助や起債決定の遅れなどが重なって、市民の皆さんにも年内着工は無理か? :といったご心配をおかけいたしました。が、かつてない多くの大型事業を進めるに当たって、石



労働福祉センターは市営陸上競技場の隣接地に6,000万円で建設、労働者の福祉向上のために利用されます。

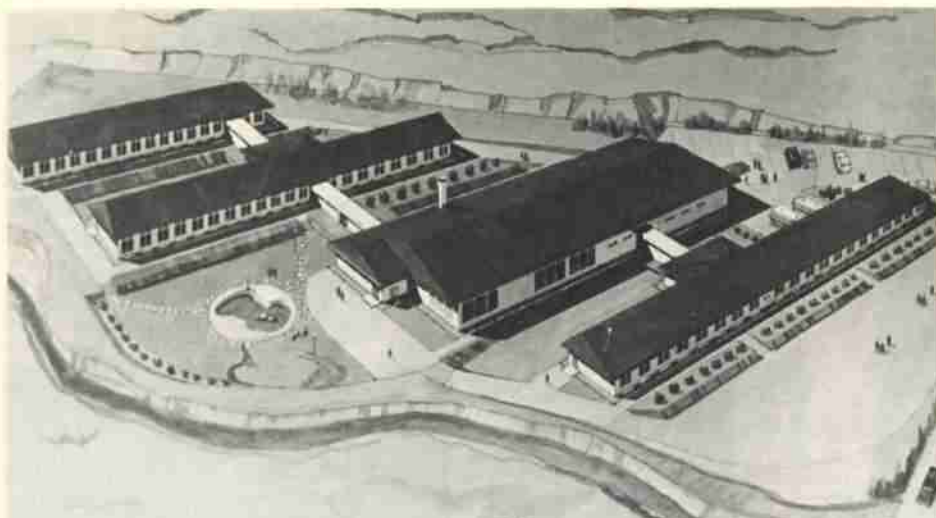


今年の市道舗装は21路線5,389M、総延長27,728M。写真は富岸東線の道路改良工事現場。

# 経済危機のなか計画どおり完成

## 48年度の大型事業

別小学校となり3,620万は、零歳保育も行ないます。



今春オープンをめざし急ピッチで建設中の養護老人ホーム（恵寿園）は工事費1億1,880万円、床面積2,052㎡で温水暖房、100人収容です。写真は完成予想図、

梶別中学校分教場（西陵中学校）は梶別西小学校横に1億3,730万円で建設中。延面積2,172㎡で普通教室12のほか特殊教室2、準備室2、会議室、保健室などで工期は3月25日です。



庁舎増改築は2月10日竣工、今までの2,108㎡に2,798㎡を増改築して総床面積4,906㎡。市民センターとして新しくオープン。



定員120名収容として1億円で建設中の梶別保育所

津伊勢前線や急激な値上げ、品不足などの厳しい経済危機に直面しながらも、この状況に耐え、いろいろな手をつくして最大限の努力を重ねてまいりました。

その結果、カルルス道路の改良を除いて、当初の計画どおり、労働福祉センター、市営住宅、庁舎増改築はすでに完成しており、養護老人ホーム、西陵中学校、梶別保育所、総合体育館、し尿処理場増設、小中学校増築などは、順調なペースで工期内に完成する見込みとなっています。今年の主な事業を写真で見ることが出来ます。

登別市内から若い二人が、北海道優良勤労青少年として、知事の表彰を受けました。

表彰を受けた方は、全部で十八名。登別市内からは、登別温泉町の玉川ストアに勤務する高橋久美子さん(20)と、登別町の恵愛病院に看護補助者として勤務している、滝場久美子さん(19)が選ばれ去る十一月に胆振支庁で表彰を受けています。

毎年おこなわれている、働く青少年の表彰は、職場の上司や同僚たちに信頼され、職務に対しても誠実であり、さらに周囲の人達からの評価も良好な十五歳以上二十

五歳未満の青少年を推選して、道知事が審査、選択して表彰するものです。



看護助手として忙しい毎日を送っている滝場久美子さん。

住み込みですが、月に一回以上は親元に帰って家族の世話をするなど、気持が優しく周囲の人達の当するようになって売上げを倍増させるなど、積極的で近代的な女性です。

滝場久美子さんは、看護補助者として恵愛病院に勤務。四十五年三月に就職後は無遅刻、無欠勤で病室内の清潔、患者の身辺の整理身体の清拭など下積みの業務ではありますが、勤めに表裏がなく誠実に献身的な努力は、患者からも高く評価されています。

さらに、人命にかかわりをもつ看護業務を良く自覚し、親切丁寧を常に心がけています。

## 誠実、 献身的な努力を評価 登別から二人が知事表彰



観光客の多い登別温泉で明るい職場づくりに努力している高橋久美子さん。

高橋久美子さんは、登別温泉でおみやげ、衣料品、化粧品などを扱う玉川ストアの販売主任です。

信頼も得ています。店では化粧品販売を担当して過去年間、一日の病欠もなく、担

## 市民 の 声

新年早々、パンなどが値上げされました。便乗としか思えない数多くの値上げ品目について、明確な理由を数字とともに公表してほしいと思います。

これが適正なものであるが、どうかチエックし、不明確なものについては「認めない」との決定を下す事は出来ないものでしょうか。

四十五円で買った「かんびよう」が百四十円になっているのにはびっくり。新しい高値のシールを重ねてはついている小売店にも腹がたちます。

社会全体が今では大幅値上げに慣れて、少々の事ではだれも驚かなくなり、あきらめて買ひ物するようになりました。この事は業者にはこの上なく都合なことです。「値上げは認めます。どうぞ」と意思表示しているに等しいわけですからでは先行きます不安、恐ろしくなります。

(登別の一主婦)

機別駅の陸橋が暗いので、通行に支障があり、また、非行防止のうえからも電灯を増設し、利用者の安全を図っていただきたい。

(機別町一市民)

現地調査の結果、東口側と西口

側の二灯の内、西口側の水銀灯が破損しておりましたので、早速ポールを立てかえ、電球は百から二百はつけ変えて利用者の安全につとめました。(公聴広報課)

車の増加に伴ない橋梁や路上の駐車が多く見受けられますが、買い物時など特に危険なので、富士橋通りを駐車禁止にしたい。

(新和会)

現在は大塚時計店前から富士橋手前まで駐車禁止になっておりますが、今後富士橋の上も駐車禁止にしたいと考えております。

しかし、河村酒店前まで延長することについては、駐車場の確保商店の業務、地域住民の利便など問題がありますので検討中です。

(保健環境課)

### 投稿のおねがい

市民の声の欄は、みなさんに利用していただくものです。

市政に対するご意見、ご要望などをハガキ、手紙でお寄せください。また、街の明るい話題、文芸なども送って戴き、皆さまと共に内容の充実した広報を作りたいと思います。

どうぞ遠慮なく、どしどし投稿して下さい。

送り先、登別市米馬町二六六

登別市役所公聴広報課「市民の声」係



園児たちの大きなかけ声で力が入ります

去る十二月十八日、友愛青年連盟のみなさんが、温泉幼稚園の子供たちのために、お母さん達の協力を得て、餅つき会が盛大にひらかれました。園児たちはめずらしい餅つきにかけ声、大きく拍手を取り、青年達とかげ声に合わせてまたたく間につきあげてしまいました。

つきたての餅は、すぐに園児たちに配られ嬉しそうにほおばっていました。

パツタンもちつき

青年たちが労働奉仕



これはおいしい初めての味!



お母さんと一緒に楽しいひとときを過ごしました



疲れるので選手交替でつきます

### 市の人口

12月末現在

総人口 49,919 (157増)  
 男 24,914 (74増)  
 女 25,005 (83増)  
 世帯数 14,568 (50増)

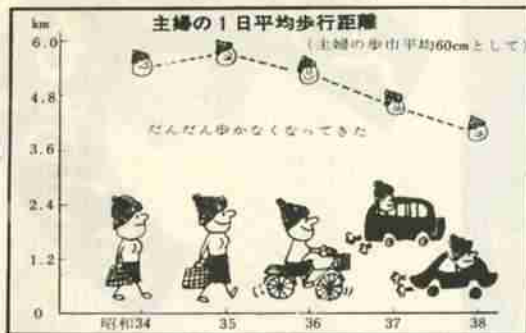
( ) 内は先月との増減



毎月10日は「防火の日」

プロパンガス、石油、たばこの火には十分な注意を!

## \*歩きましょう 体力づくりメモ



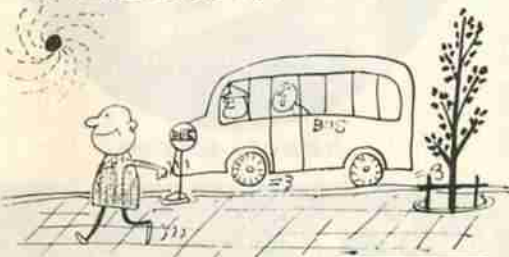
このごろは生活様式の合理化や交通機関の発達で、おなたちは歩くことが非常に少なくなっています。あなたは1日にどのくらい歩いていますか。

簡単な健康法のひとつとして、心掛けて歩きましょう。早く早歩き歩行は、年齢や体格によって違いますが、自分自身のペースをつくり、姿勢をよくして、少し汗ばむ程度の速さで歩きましょう。

### 家庭でもちょっと工夫を……



### 1日4km以上は歩きましょう



### 職場でも工夫を……



選手はどのくらいの速さで歩きましょう

30km競歩→  
時速13.8km

50km競歩→  
時速12.0km

2時間競歩→  
26.429m

世界記録より換算

二月という月は、俗に逃げる月といわれるくらい、日のたつのが早く、あつという間に過ぎていってしまいます。

農家では、間もなく始まる農作業への準備など、いそがしくなるのが目に見えてきました。

一般のご家庭でも、お子さんごとの進級、進学から、卒業、就職など、心配とよろこびが重なっていつもの月とは違った気つかれる月でしよう。とくに進学するお子さんをもつご家庭では、いまの受験制度を、もう少しなんとかしてやりたいと思う気持ちで、なんとも落ちつかない毎日ですが、なるべくお子さんの前で深刻な話はやめていただきたいものです。

## 図書館コーナー



新年あけましておめでとうございます。激動をつづける世界状況の中で昨年は、石油問題によって我が国はその渦の中にまきこまれて大打撃をうけました。

このような状況の中で、登別市政は市民のみならず共に、着実

に歩むことができました。図書館は、開館以来一年半の間市民に対しての真のサービスをするために、無我夢中で努力して参りましたが、その結果、いかにみなさまが図書館のような文化施設を求めているかを、数字でおしえてくれました。

昭和四十七年度には三万七千五百六十八冊の図書を出し、全市民が一年間に〇・七冊を借りて読んだことになりました。

また、昭和四十八年度には五万冊以上の貸出し冊数になることは間違いなく、全市民が一冊以上借りて読むことになりました。

貸出しされる図書は、小説類が



S. 48.10.26-28に実施したベルギー絵本展

一番多く最近では、婦人層の利用者がめだつてきており、お母さん方が「今日のおかずを何にしようか」「赤ちゃんのセーターを編むために」「子供のしつけをどのようしようか」となど次号を待ちかねたように借りていく姿を見ています。

Yヨーロッパ、アメリカでは、市の行政における図書館の占める役割は非常に高く、市民の図書館に求める要求も我が国とは比較にならない程多いと言われています。

今後、市立図書館としては、ますます資料を豊富にそろえ、市民のみならず要望に応えるべく努力いたしますので、図書館を暮しの中に結びつけられ愛着のもてる図書館としてご利用ください。

## 暮しのしおり



### 春を迎える

こよみの上では、春はもうそこまでやってきたというのに、太平洋側では冷たい北西風が吹き荒れており、日本海側では雪が……。データによると、一年中でこの二月が一番よく雪が降り、また大雪になることが多いようです。